

市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催 備北緩和ケア月例公開研修会①《通算第37回》

●日時:平成31年4月8日(月)

18:30~19:30

- ●会場:市立三次中央病院 健診センター2階 講堂
- ●演題

医療倫理の4原則

ー特に終末期ケアの倫理規範を知る一

臨床現場においては、たとえば医療/ケア側が望ましいと考える対応と患者の要望が一致しない事例、患者と家族の意向が足並み揃わない事例など、患者・家族との対応にスタッフが困難感やジレンマを感じることが少なくありません。そのようなことが重なると心身ともに疲弊し、スタッフが「燃え尽き」てしまう大きな要因ともなります。その打開策は、医療従事者として遵守すべき職業上の倫理規範をよく知ることに尽きます。今回は特に終末期ケアにおいて念頭に置くべき規範についても解説します。

緩和ケアセンター長・緩和ケア内科医長 佐伯 俊成

<講師略歴>

佐伯 俊成(さえき としなり):

昭和60年広島大学精神科入局。JA吉田総合病院, 広島市民病院, 中国労災病院, 安佐市民病院, 東京都立墨東病院精神科を経て, 平成8年から広島大学病院精神科助手。平成10年同医局長。平成14年同講師。平成16年同総合診療科准教授。平成25年4月から現職。平成28年10月緩和ケアセンター長兼務。外来・入院緩和ケアに加えて近年は在宅緩和ケアに心血を注ぐ。厚生労働省精神保健指定医, 日本心身医学会心身医療認定医, 日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医。

